

SilverFast - Pioneer in Digital Imaging



SilverFast[®] 8

プロフェッショナル
スキャナー・ソフトウェア



日本語



ADF Scan

自動文書インデント機能



SilverFast 8 のADF機能

ADFとは、“自動文書インデント機能” のことです。(英語: „Automatic Document Feder“)多くのフィルムスキャナーは、画像イメージの小さいリバーサルフィルム、中くらいの大きさのリバーサルフィルム、そして写真・映画用のフィルム(帯状フィルム)を自動的にインデント処理します。ユーザーはフィルムホルダーのフィルムを手作業で処理する必要なく、スキャナーのスイッチを押していただくか、ソフトウェアのインデント処理機能をご使用いただくだけです。

ADFにオプションとして機能を追加することで、いくつかのスキャナーはインデント処理を行うことができます。雑誌等の40、50、または100のリバーサルフィルムを自動的にデジタル化できるスキャナーもありますが、SilverFast 8 のADF機能で、作業時間が短縮できます。特に下記されているような画像校正時のRAWデータ文書処理機能に適しています。

スキャナーは独自に構成と機能に自動文書のインデントを追加できますが、SilverFast 8 は、スキャナー作業のオブジェクトを判断し、適切に作動します。すべてではありませんが、それぞれの ADF機能搭載のスキャナーのためのボタンと機能をご紹介します。

ADF機能使用方法

- SilverFast Ai Studio を起動させて下さい。WorkflowPilot モードではADF機能はご利用いただけません。ADF機能をご利用になる場合は、まず WorkflowPilot モードをディアクティブ化してください。左上にある WorkflowPilot のアイコンをクリックしていただくと、WorkflowPilot がディアクティブ化されたサインとして、赤いアイコンをご確認いただけます。

- **時前設定:** SilverFastの „設定“ の „自動“ にて、画像自動と画像の自動フレーム確認が使用されるかを矢印にて決めることができます。

- **ADFスキャン準備:** プレビュー画面の左側にある垂直のツールリストにスペシャルツールがご確認いただけます。一番下には、ADF機能のコントロールボタンがあります。

- **フィルムホルダー・イジェクト:** このボタンでスキャナーにフィルムホルダーまたは帯状フィルムをイジェクトするかを指示してください。例: 既存の画像素材を変更する場合



フィルムホルダー/帯状フィルム イジェクト



ADF機能は SilverFast Ai Studio 8 に搭載されていて、スキャナーの自動イジェクト処理に使われます。このドキュメントの最終ページで互換性のあるスキャナーのリストをご覧ください。



スキャナーのADF機能はスキャナーによって異なります。それぞれの機能がすべてスキャナーに対応する訳ではありません。



WorkflowPilot inactive

Auto frame with ADF

Auto adjust with ADF

- **次画面:** このボタンをクリックすることで、フィルムホルダーは次の画像へのポジションへ進みます。



次の画像の呼び出し

- **前画面:** このボタンのクリックで、フィルムホルダーは以前作業していた画像へ戻ることができます。



全画像の呼び出し

- オーバービュー:** このボタンのクリックで、ADF オーバービューダイアログを開き、フィルムホルダーのオーバービューで画像作業することもできます。どの画像がスキャンされるかをこちらでご選択いただけます。



オーバービューダイアログ
オープン



オーバービューダイアログは下部分でボタンを表示します。

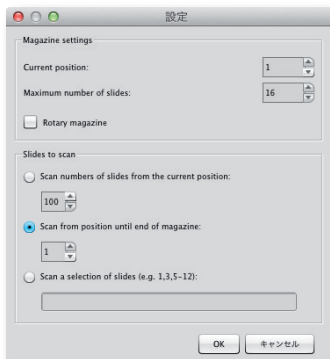
- 設定:** 一冊のリバーサルフィルム雑誌を全部スキャンする場合、まず „設定“ を開いて下さい。

„雑誌の設定“ で、スキャンに必要な雑誌の情報を入力して下さい。

• 現行の作業ポジション: こちらで現行の雑誌の画像の情報を入力して下さい。作業中フィルムのポジションをマニュアルで変更することもできます。

• リバーサルフィルム最大値: 雑誌の絶対値(フルスコア)を入力して下さい。

• ローテーションマガジン: フィルムの始まりと終わり規定されていないオブジェクト(ローテーション・マガジン)で作業をするとき、こちらをチェックして下さい。



„スキャンされたリバーサルフィルム“ でスキャナーされるリバーサルフィルムの数とポジションを選択し、3つのオプション中からひとつのオプションを選択して下さい。

- スキャナーされる現行リバーサルフィルムのポジション数:** 多数の現作業ポジションのリバーサルフィルムをスキャンします。
- 以下の情報を雑誌の最後までスキャンする:** 現行の作業ポジションからすべてのリバーサルフィルムをスキャン。
- リバーサルフィルムスキャンの選択:** それぞれの作業ポジションにあるフィルムをスキャンできます。; それぞれのポジションはコンマで区切ってください、ハイフンで分けることもできます。例: 1, 3, 5-12または1,3 & 5~12。

- **サムネイルの更新:** このボタンのクリックによってフィルムホルダーにある画像のプレビューを素早く生成できます。
- **ストップ:** オーバービューの更新を中断する為には、「ストップ」をクリックして下さい。



プレビューサムネイルは少しずつ、オーバービューダイアログに表示されます。このプレビューを手がかりに、どの画像をスキャンするか選択して下さい。この作業の為に、「設定」をご使用になるか、適応するサムネイルをクリックして下さい。青いフレームの画像は ADFスキャンを認識しますが、白いフレームの画像はしていません。



マウスでスキャンされたい画像を選択してください。青いフレームの画像はスキャンされ、白いフレームの画像はスキャンされません。



例: このオーバービューダイアログは16以上画像から構成されるスライダーです。4～11のポジションのスライダーは入力されません。サムネイルは更新され、4、11、12、16の画像は選択されず、最終的に1～3と5～10のポジションが選択されます。

- **OK:** 「OK」のクリックでオーバービュー・ダイアログを終了させて下さい。作業中の設定が認識され、ADFスキャンがスタートします。



「OK」のクリックで作業中のプレビュースキャンのいくつかの画像が自動的にスタートします。

ADFスキヤンのスタート

既存のスキヤンフレームのパラメーターを設定した後、ADFスキヤンをスタートできます。予め、設定“されたSilverFast の „ADFスキヤン画像自動処理”を更新する以外、作業中のスキヤンフレームの設定がそれぞれのADFスキヤンジョブに適応されます。

- **スキヤンモード選択:** 右上にある水平のツール中のボタン“スキヤン”をマウスで長くクリックしていただくと、“ADFスキヤン”モードが選択されます。その後、ドロップダウンメニューが開きます。“ADFスキヤン”を選択していただくと、ADFスキヤンが開始されます。

同じ方法で通常のスキャンモードに戻す事ができます。



マウスクリック: スキャンの
続行

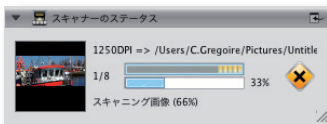
マウスを押し続ける: スキャン
モードの選択、スキャンの
実行



ADFスキヤンの中断

ADFスキヤンが実行されている間、スキヤナー・ステータス・ウィンドウの左下のコントロールドックで進捗状況をご確認いただけます。

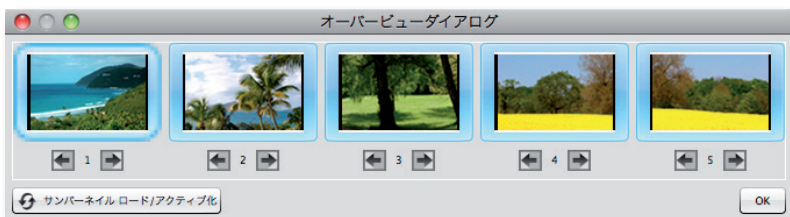
- **作業中の画像スキヤン中断:** 作業中の画像スキヤン処理を中断する為に、スキヤナー・ステータス・ウィンドウにある黄色いアイコンの黒い „×” をクリックして下さい。
- **すべてのADFスキヤンを終了する:** すべてのADFスキヤン作業を終了する為に、“ALT”キーを押しながらスキヤナー・ステータス・ウィンドウにある黄色いアイコンの黒い „×” をクリックして下さい。



すべてのADFスキヤン作業を終了する為に、“ALT”キーを押しながら黄色いアイコン上の黒い „×” をクリックして下さい。

フィルムオフセットツール

ADF機能搭載のスキヤナーでフィルムをスキヤンするとき、SilverFast 8 では、あまいなポジションを均一にする為に、フィルム上の画像を個別にスキヤンする事が可能です。サムネイルの下にあるオーバービューダイアログに小さい矢印があり、それによって画像を左右に移動させる事ができます。

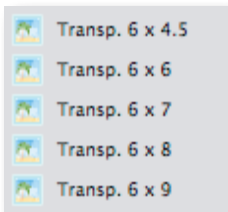


フィルムホルダーのバリエーション

様々なフォーマットで作業をする為のフィルムホルダーは、コントロールドックの左上にご希望のフォーマットがあります。

ADF機能をご使用いただけるスキャナーのリスト

- Braun Phototechnik Multimag SlideScan 4000 / 4000b
- Braun Phototechnik Multimag SlideScan 6000
- Nikon LS 4000ED / Super Coolscan 4000ED *
- Nikon LS 40ED / Coolscan IV ED *
- Nikon LS 5000ED / Super Coolscan 5000ED *
- Nikon LS 50ED / Coolscan V ED *
- Nikon LS 8000ED / Super Coolscan 8000
- Nikon LS 9000ED
- Pacific Image Electronics PowerSlide 3650
- Pacific Image Electronics PowerSlide 5000
- Plustek OpticFilm 120
- reflecta DigitDia 4000 / 5000 / 6000 / 7000
- reflecta RPS 7200
- reflecta RPS 10M



* こちらのNikonのスキャナーには、付属品として特別 ADF機能のサポートをお薦めしています。

